

再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名 南九州西回り自動車道 一般国道3号 川内隈之城道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 九州地方整備局
起終点 起点：鹿児島県薩摩川内市都町 終点：鹿児島県薩摩川内市水引町	延長 10.2km	
事業概要 川内隈之城道路は、南九州西回り自動車道（熊本県八代市～鹿児島県鹿児島市）の一区間を形成する、延長10.2kmの自動車専用道路である。本道路は、高速交通ネットワークの形成、地域産業の活性化、国道3号の交通混雑の緩和等を目的とした事業である。		
H7年度 事業化		H17年度 都市計画決定
H18年度 用地着手		H19年度 工事着手
全体事業費	約376億円	事業進捗率 53%
計画交通量	14,300～17,600台/日	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 3.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 151/396億円 (事業費：117/361億円) (維持管理費：34/34億円)
		総便益 (残事業)/(事業全体) 513/513億円 (走行時間短縮便益：392/392億円) (走行経費減少便益：68/68億円) (交通事故減少便益：52/52億円)
		基準年 平成24年
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C=1.1～1.5（交通量±10%） 【残事業】交通量：B/C=2.9～3.9（交通量±10%） 事業費：B/C=1.2～1.4（事業費±10%） 事業費：B/C=3.2～3.7（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.2～1.4（事業期間±20%） 事業期間：B/C=3.2～3.5（事業期間±20%）		
事業の効果等 ①産業活動の支援 ・川内港～鹿児島市間の所要時間の短縮 ・農産物の集荷の高速性、定時性の確保、水産物の輸送時間の短縮 ②交通混雑の緩和 ・並行する国道3号の交通混雑の緩和 ③交通安全性の向上 ・並行する国道3号の死傷事故件数の減少 ④災害に強い道路ネットワークの構築 ・国道3号の代替路及び緊急・輸送ネットワークとしての機能 ⑤救急医療活動の支援 ・出水市、阿久根市から第3次救急医療施設（鹿児島市立病院）までの救急搬送を支援 ・救急医療活動のアクセス時間の短縮 ⑥沿道環境の改善 ・並行する国道3号の騒音レベルが環境基準を達成		
関係する地方公共団体等の意見 南九州西回り自動車道沿線首長・議長で構成される南九州西回り自動車道建設促進期成会より、積極的な整備促進の要望を受けている。（平成24年7月）		
県知事の意見： 「対応方針(原案)」案の「継続」については、異存ありません。引き続き、早期完成に向け、所要の予算を確保されたい。		
事業評価監視委員会の意見 審議の結果、事業継続		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 沿線地域の一帯当りの自動車保有台数は増加傾向であり、並行する国道3号は、依然として交通混雑（混雑度1.16）が発生している。		
事業の進捗状況、残事業の内容等		

平成23年度末の事業進捗率は、事業費ベースで約53%であり、そのうち用地進捗率は約89%となっている。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、平成24年度の薩摩川内水引IC～薩摩川内高江IC間(L=3.5km)、平成26年度の薩摩川内高江IC～薩摩川内都IC間(L=6.7km)の供用に向けて引き続き事業促進を図っていく。

施設の構造や工法の変更等

- ・評価対象の拡大(用地4車+工事2車→用地4車+工事4車)による増加【約92億円増】
- ・補強土壁工法の大型パネル化による減【約0.04億円】

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

以上、事業の効果、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。